

株式会社 丸山ライスビジネス

DX宣言書

2025年7月18日
株式会社 丸山ライスビジネス
代表取締役 丸山 祐一郎

□ 経営理念

「お客様よし・地域よし・丸山RBよし」三方よしの精神で社会貢献します

□ DXビジョン(2～3年後にありたい姿)

- ◆ デジタル技術を活用して、受発注・在庫・出荷・会計等の基幹業務を一元管理し、リアルタイムで状況把握できる仕組みを構築することで、誰もが円滑に業務を遂行できる体制を整えます
- ◆ デジタル基盤の整備を通じて、変化に柔軟に対応することで持続的な成長を実現します

□ DX戦略・施策

➤ フェーズ1(現在 ～ 2025年12月)

戦略 「業務の見える化と課題の洗い出し」

- 施策
- ・ 現状の把握を行うため、受発注・在庫・出荷・会計等、既存システムに関わる業務フローを整理
 - ・ 紙ベースでの管理やシステムへの転記作業等、業務フロー上で課題となっている箇所を明確化
 - ・ 解決すべき課題を一覧にし、取り組みの優先順位を設定
 - ・ 社内の意識統一に向けて、DX宣言の内容を説明し、DX推進体制を整備

➤ フェーズ2(2026年1月 ～ 2027年6月)

戦略 「業務効率の向上および情報の一元管理の実現」

- 施策
- ・ 業務の柔軟性向上と安定したシステム稼働に向けて、既存販売システムをクラウド型へ移行
 - ・ 現場でのシステム活用定着に向けて、操作マニュアルの整備や社内研修を実施
 - ・ データに基づく意思決定を可能にする土台づくりとして、現場での業務データの入力を周知・徹底

➤ フェーズ3(2027年7月 ～ 2028年6月)

戦略 「システム構築とデータ活用による経営強化」

- 施策
- ・ 自社特有業務への対応力を高めるため、精米計画やロット管理等に対応可能な自社システム構築を検討
 - ・ データに基づく意思決定をよりスピーディーに行うため、売上・在庫・出荷実績等を分析・可視化するツールの導入を検討
 - ・ データを活用した業務改善の取り組みを定着させ、継続的な業務効率の向上を推進
 - ・ システムの持続的な活用を支えるために、運用ノウハウの社内共有と人材育成を推進

□ DX推進体制

- ・ 代表取締役専務がDX推進における実務執行統括責任者を務めます
- ・ DX推進チームがDX戦略実行の中心的役割を担います

□ DX推進目標

- ・ 販売管理システムのクラウド移行 : 完了(～2028年6月)
- ・ 紙の使用量削減率 : 2024年度比 20%(～2028年6月)